

令和3(2021)年度実施 武蔵野市地球温暖化対策実行計画2021(区域施策編)改定案 パブリックコメント実施結果

No.	計画の頁	意見	市の対応
1	全般	国を挙げて脱炭素が推進されているが、市が国の方針に沿うのはなぜか。	区域施策編は市域全体の温室効果ガスの削減目標について定めるものですが、その実現のための取組は、本市が中心となって行うものだけでなく、例えば電力の電源構成の変更や住宅・車両に対する規制・補助等、国や都の制度や取組によるところが大きく、厳密に区分することはできません。したがって、区域施策編の削減目標に向けては、国、都、市が一体的に取り組んでいくものと理解しています。そのような中で、国は令和3(2021)年10月22日に地球温暖化対策計画を改定し、2030年度までに2013年度比で温室効果ガス46%削減を掲げているため、これに準拠して今回の計画を改定するものです。
2	全般	太陽光発電システムは気候に左右され、処理に際しても費用や環境汚染が問題になることがある。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
3	全般	具体的な施策や削減計画の詳細を公表してほしい(同様の意見が他に10件)。	目標達成に向けての主な取組は、17~23頁に記載の通りです。これ以上に具体的な取組や削減計画は、長期的な視野を持つ本計画では示さず、今後の技術革新や社会情勢等を踏まえながら、効果的な取組を順次検討し、毎年度の予算でお示ししていく予定です。
4	全般	文字がイメージとして湧いてこない。「みんなが主役」になるために、わかりやすい言葉が必要である。	本計画は、地球温暖化対策に関する目標や施策を示すことに主眼があることをご理解ください。市民の皆様の主体的な取組を促進するためのツールとしては、「気候危機打開武蔵野市民活動プラン(仮称)」等の作成を予定しており、本計画とは別にわかりやすくお伝えすることを心がけてまいります。
5	全般	多くの項目が網羅されているが、文章も読みやすい。	評価いただき、ありがとうございます。
6	全般	基準年の2013年から目標年の2030年までの対策・削減量なのか、本計画の期間である2021年から2030年までの対策・削減量なのかわかりづらい。	ご意見を踏まえて、13頁の表現を修正しました(「本計画における削減目標」⇒「2030年度までの削減目標」)
7	全般	市民にも計画内容、目標、およびその重要性が伝わるよう、計画や活動への参画を推進してほしい。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
8	全般	太陽光発電システムの製造や処分による環境汚染、パネルの発熱によるヒートアイランド現象の誘発、地震による屋根の崩壊、火災による有毒ガスの発生等が不安である。	2をご参照ください。
9	緩和策・適応策	緩和策・適応策の両面から樹木の保護を進めてほしい。	関係部署と共有し、ご意見を参考にさせていただきます。
10	1	「策定の背景および目的」において、「2°C目標」については言及されているが、「1.5°C目標」については言及されていない(同様の意見が他に9件)。	ご意見を踏まえて、修正しました。
11	1	地球温暖化の背景についてよくまとまっており、環境の知識がない人にもわかりやすい。	評価いただき、ありがとうございます。
12	1	国の2030年の削減目標は2013年度比46%で、50%の高みに向けて挑戦を続けていくとしている。しかし、2010年度比にすると42%削減となり、COP26における「2010年比45%削減」の目標値よりも低くなる。このことを明記してほしい。	1や22の回答と同様の理由から、このことについて特別に明記すべきとは考えません。
13	1~12	背景や地球温暖化の現状がわかりやすい。計画の体系もしっかり作られている。また、武蔵野市の温室効果ガスは既に減少傾向にあるが、本格的な対策なしに減っているのがすごい。	評価いただき、ありがとうございます。
14	2	位置づけや体系について、難しい内容を扱っているのはわかるが、やや難解に感じる。	本計画が何に基づき、どのような計画と関連しているかは明示する必要があります。その上で、体系図は第五期武蔵野市環境基本計画等でも使用されているため、整合性の観点からも現行の通りとさせていただきます。
15	3	計画期間について、中間にあたる4年後には見直しをしてほしい。	3頁に記載の通り、本計画は社会情勢の変化を踏まえて適宜見直しをするものですが、ご意見の通り計画期間の途中で中間評価を行い、必要に応じて改定することを想定しています。
16	3	2022年度版の計画検討に使う実績データが2018年度だと古いので、電力会社とガス会社から最新の供給量データを取得してほしい。	オール東京62区市町村共同事業として実施している、「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」では、都内自治体の温室効果ガス排出量の計算に係るコストを削減するため、この計算を一括で行っており、市も同プロジェクトのデータを使用していますが、同データは2018年度のものが最新です。東京都内62区市町村共通の算定方法を用いており、他の区市町村との比較ができるため、今後も本プロジェクトのデータを使用する予定です。
17	4~7	わかりやすく、興味をひく。	評価いただき、ありがとうございます。
18	4~7	この部分を序章として置き、地球温暖化の深刻さをアピールしてはどうか。	趣旨は理解しますが、計画の基本的事項もまた重要ですので、現行通りとさせていただきます。
19	4~7	IPCC第5次評価報告書から図表を引用しているが、最新の第6次評価報告書から引用してはどうか。	ご意見を踏まえて、修正しました。
20	8~12	わかりやすく、新しい発見がある。このような市の温暖化に関する情報を集めたデータ集のようなものが計画とは別にあり、市民がいつでもアクセスできるとよい。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
21	10	電力由来の二酸化炭素(部門別)や電力使用量の過去推移、目標を掲載してほしい。また、小売電気事業者別(各事業者の排出係数別)の電力供給量のデータも取得してほしい。	部門別のエネルギー構成を11頁に追加しました。小売電気事業者別の電力供給量データについては、今後の課題とさせていただきます。

No.	計画の頁	意見	市の対応
22	13	2050年までのカーボンニュートラルのためには、日本全体で温室効果ガスの削減目標を62%に設定すべきとの意見もあるため、国の目標に沿うのではなく、 - 1 市の目標値を53%から引き上げるべきである（3件） - 2 市の目標値を60%以上にすべきである（9件） - 3 市の目標値を62%以上にすべきである（4件） - 4 53%のペースでは不安がある（2件）	1の回答の通り、市域全体の温室効果ガスの削減のためには、国、都、市が一体的に取り組んでいくものと理解しており、本計画の温室効果ガス削減目標は、国の目標に沿って53%としました。また、15頁で示している削減のイメージの通り、様々な施策を組み合わせ、そして国の計画が全て完全に計画通りに実現されて、ようやく53%前後の削減率となるため、これ以上の目標設定は現実的ではないと考えます。しかしながら、市としてはこの目標値に関わらず、高みを目指す姿勢をもって効果的な取組を進めてまいります。
23	13	地球温暖化対策のような大きな取組は、国の施策と連動するものであり、地方自治体単独の施策には限界があるから、国の目標値に沿いつつ少し上乗せした53%削減の目標は論理的である。また、地球温暖化以外にも様々な行政課題がある中で、環境一辺倒にならず、かつ武蔵野市の良好な環境のイメージを損なわない目標にもなっており、バランス感覚がある。	評価いただき、ありがとうございます。ご意見のとおり、バランスを取りながら取組を進めてまいります。
24	13	国の目標より7%も高い目標は評価するが、そもそも国の46%削減という数値目標が一人歩きしているようにも思う。重要なことは地球温暖化が抑制されるという結果であり、数字のトリックに頼るものではない。その意味で、数値目標にこだわる必要はない。	市は53%という目標を掲げますが、この目標に関わらず高みを目指す姿勢をもって効果的な取組を進めてまいります。
25	13	53%削減は高い目標であり、これを目指すのは本当に大変だと思うが、市民が一丸となってやっていくしかない。	市としても市民・事業者の方々の取組を後押しできるよう、一丸となって取り組んでまいります。
26	13	53%削減の目標設定を評価する。	評価いただき、ありがとうございます。
27	13	削減目標を国よりも高い53%に設定していることがとてもうれしい。ただし、2030年までに62%を削減すべきとの意見もあるため、53%を着実に目指しつつ、62%削減に向けて考え、行動し続けることが重要である。	22をご覧ください。
28	13	今の時点でどれくらい削減できているのかを示してほしい。	14頁で示しているとおりです（2018年度実績が最新となります）。
29	13	国の責任において2030年度までに排出係数が大きく低減することだから、実際に市が削減しなければならない温室効果ガス排出量は、見かけよりも低いのではないかと。実現可能性のためにも明記してほしい。	排出係数に限らず、多くの項目について国や都の施策が関連してきます。それらを全て区分し、市の単独の施策で削減する量を計算することはできません。1や22もあわせてご覧ください。
30	13	「実質」の意味がよくわからない。	13頁に記載の通り、「排出実質ゼロ」とは、温室効果ガスの排出削減に最大限取り組んだ結果、なお残る温室効果ガスを森林吸収や排出権取引、回収、貯留等の方法により相殺することを指します。
31	13	「2030年度までの削減目標53%」には、相殺分は含まれるのか。	カーボン・オフセット等により温室効果ガスの排出を相殺する可能性はあります。
32	13	目標値と実績値を年ごとに見えるようにするのはどうか。	各施策の実施スケジュールを本計画で定めないため、各年度の目標値は設定できません。各年度の実績値については、年次報告書「武蔵野市の環境保全」に掲載します。
33	13	国よりも高い53%という高い目標に、市の意気込みを感じる。非現実的な数値よりも好感が持てる。エコレポートという素晴らしい施設を活用しながら、市民と市と一緒に温暖化に取り組めるよう望む。	評価いただき、ありがとうございます。具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
34	13	53%という国よりも高い目標を掲げつつ、それに向かう市民等の取り組みも数字を入れながらまとめられており、希望の持てる内容である。市民の行動については、気候市民会議で話し合われるはずなので注視したいが、令和4年に開催するという点でよいのか。年齢制限等はあるのか。	評価いただき、ありがとうございます。気候市民会議は令和4年度に開催し、16歳以上の市民を対象とする予定です。
35	13	53%の目標はよいと思うが、お金をかければ60%や70%にすることもできる。つまり、どこまで地球温暖化に予算を割くかということであり、市には福祉や教育等の重要課題もあるため、バランス感覚をもって数値目標を立てなければならない。	評価いただき、ありがとうございます。ご意見のとおり、バランスを取りながら取組を進めてまいります。
36	13~	国は46%を目指しつつ50%に挑戦し続けるというから、武蔵野市の53%の目標がいかにか意欲的かわかる。この実現のために、例えば、 ・市民環境講師の育成 ・ZEHやEVへの補助 ・排出係数ゼロ電気への補助等の施策はどうか。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
37	14	わかりやすいグラフである。	評価いただき、ありがとうございます。
38	15	取組の効果は、市の削減ポテンシャルを考慮した上での試算なのか。また、これらを実施する用途は立っているのか。	国の地球温暖化対策計画の削減根拠を本市に当てはめて計算しており、本市独自の削減ポテンシャルを考慮したものではありません。また、本ページは個別施策の削減目標ではなく、あくまでどのような取組をすれば、どれだけ削減できるのかという具体的な削減のイメージを持っていただくために示したものです。
39	15	施策と効果のインパクトのイメージをつかむことができた。電気・ガスの排出係数の低減のインパクトが大きいことがわかった。	評価いただき、ありがとうございます。
40	15	主要対策についての導入目標と削減量の数値目標が掲げられたことは素晴らしいが、個々の対策における計算式や前提条件を記載してほしい。また、この部分は2013年～2030年までのものだと思うが、本計画期間と分けて書いてほしい。	15頁はあくまで温室効果ガスの削減イメージであって、取組ごとの数値目標ではありません。その意味で、厳密な計算式や前提条件は示していません。また、国の削減根拠に沿って計算しているため、国が設定する期間と同様に2013～2030年の期間を設定しています。
41	15	中間達成目標を設定してほしい。	中間目標を設定することはしませんが、中間評価は想定しています。15もあわせてご参照ください。
42	15	将来人口推計のデータは反映されているか。	計算に人口は使用していませんが、2030年の世帯数は使用しています。ただし、平成30年度に実施した将来人口推計の世帯数と、最新の実際の世帯数の間に既に隔たりが生じているため、将来人口推計によらない別の推計値で計算しています。
43	16	適応計画は変更なしでよいのか。	今回は改定の対象外としています。

No.	計画の頁	意見	市の対応
44	17	市民の機運は高いため、気候市民会議は早急に進めてほしい。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
45	17	COOL CHOICEは積極的に進めてほしい。その際、市民の消費行動を取り扱う市民団体等との協働も検討してほしい。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
46	17	市民団体との連携に際し、公平性は優先よりも問題解決を優先事項してほしい。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
47	17	環境経営に関する研修会とは、どのようなものか。また、事業者との連携に際しては、商店会や商工会議所等の協力も必要である。	市内の事業者を対象とする、省エネルギー対策に関する研修会、意見交換会、相談会等が想定されます。引き続き、ご意見も参考にしながら事業者との連携を進めてまいります。
48	17	家庭から排出される二酸化炭素が多いため、ホームページの工夫等により市民全体で危機感を共有することが重要である。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
49	17	エコリゾートが大好きだが（特に夜のライトアップ）、新型コロナウイルスのワクチン接種会場になってしまった。どうにかならないか。	新型コロナウイルス感染症の影響で、エコリゾートに限らず様々な公共施設が通常と異なる運用をしており、市民の皆様にはご不便をかけて申し訳ございません。なお、エコリゾートに関しては、施設の利用は制限されていますが、2階に図書などを配し、自由にご利用いただけるようにしております。また、同施設を主体とした情報発信や出張イベント等も行ってまいります。
50	17	目標達成のためには、市民が取り組みたくなる方策を発信する必要がある。例えば、地球温暖化に関する出前授業などはどうか。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
51	17	市民の意識向上のために、小中学校で環境啓発授業を実施してほしい。また、事業者の意識向上のために、RE100の地域版を導入してほしい。	授業としてはありませんが、エコリゾートにおける小学校の社会科見学や中学校の職場体験の際に、環境問題・啓発に関する講義を行っております。今後も具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
52	17	開催する予定の気候市民会議において、各地区でオープンに意見を聞く機会や、平日夜や土日中におけるオンラインヒアリングの機会を設定してほしい。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
53	17	エコリゾートを拠点とした気候啓発と全学的ムーブメントづくりに期待している。	期待に沿えるよう、取り組んでまいります。
54	17	気候市民会議において、1.5°C目標等の必須の基礎情報を参加者で共有した上で議論してほしい。また、NGO等の意見も議論に反映させてほしい。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
55	17	気候市民会議において、市民の自発的行動を基本としつつも、ソーラー設置義務化等の対策導入についても議論してほしい。	国や東京都の制度の動向を注視していきます。
56	17	市民一人ひとりが二酸化炭素排出削減に向けた行動を実践するための環境教育を通じた意識啓発は、重要な取組である。	市もそのように考えております。
57	17	自主的に行動しない人々の意識を変える必要があるため、日常で目にする場所で啓発をするべきである。また、協力した人には特典を用意すると多くの人が行動に移せるのではないか。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
58	17	気候市民会議の開催を歓迎する。	評価いただき、ありがとうございます。
59	17	気候市民会議において、可能であれば友好都市とも交流したい。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
60	17~23	具体的な取組として、例えば以下のようなものはどうか。 ・深夜放送の時間帯の短縮 ・節水栓の普及 ・雨水貯留の普及	関係部署と共有し、ご意見を参考にさせていただきます。
61	17~23	住宅への太陽光発電システムに対する設置補助だけでなく、以下のような踏み込んだ施策が必要である。 ・公債を発行し、再エネに投資する。売電の利益は公債を購入した投資家に還元する。 ・市民に高層住宅への切り替えを促し、空いた土地でソーラーシェアリング等を行う。また、高層住宅の壁面に薄型の太陽光発電フィルムを貼付する。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
62	17~23	工務店に断熱改修に関する講習会を開いてほしい。自分たちでできるのであれば、費用をかけて工務店にやってもらう必要はない。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
63	17~23	再エネ設備を開発する企業を応援してほしい。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
64	17~23	再エネを推し進め、自然破壊になるケースは避けなければならない。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
65	17~23	公園の東屋に太陽光発電システムを搭載してほしい。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
66	18	コラムの中で「家計の負担」の記載があるが、これまでに以上の補助金がなければ温暖化対策は進まないのではないか。また、設置後の適切な管理のために、行政は補助金受領者に定期的な報告書を求める等の対応が必要である。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
67	18	外壁に付着させるような太陽光発電システムも研究されていると聞いたため、このような先進的技術も検討してほしい。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
68	18	環境とお金の関係は興味をひく。	評価いただき、ありがとうございます。
69	19	気候市民会議はよい取組であり、機会があれば参加したい。市民とともに作る環境施策を増やしてほしい。	家庭からの二酸化炭素排出量は全体の約4割程度であるため、この削減にあたっては市民の皆様のご協力が不可欠です。ご意見の通り、市も市民の皆様とともに地球温暖化対策を進めていく必要があると考えております。
70	19	新築住宅について、ZEH導入の検討を条例で義務化してほしい。また既存住宅についても、創エネ・省エネ住宅への検討を条例で義務化してほしい。	国や東京都の制度の動向を注視していきます。
71	19	エネファームを導入し、床暖房を導入しない場合は、かえって二酸化炭素が増加する可能性も指摘されている。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
72	19	太陽光発電システムの設置義務化を検討してほしい。	国や東京都の制度の動向を注視していきます。
73	19	実質再エネ100%電力の導入支援にあたっては、実際に再エネ拡大につながるか（二酸化炭素実排出量の削減につながるかどうか）を重視してほしい。また、2013年度が基準年であれば、2013年以降に稼働した再エネ発電所の電気であれば削減のカウントができない。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。

No.	計画の頁	意見	市の対応
74	19	P H Vは二酸化炭素の削減効果も蓄電池の容量もE Vに劣るため、推奨しなくてもよいのではないかと。	次世代自動車の今後の開発状況や市場動向はわからないため、今の時点でP H Vを排除することは妥当であると考えておりません。
75	19	石炭火力発電の電気でもガソリン車より二酸化炭素が減ることをコラムで紹介してはどうか。	情報を選別し、効果的な内容に絞る必要があるため、現行の通りとさせていただきます。
76	19	効率的なエネルギー活用推進助成において、防災上のメリットからも引き続きエネファームを助成対象にしてほしい。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
77	19	小売電気事業者が実質二酸化炭素排出量ゼロの電気のメニューを提供しており、これは市民の環境に優しい電力の購入に貢献する。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
78	19	公共施設のみならず、ネットゼロエネルギー化、断熱改修を進めてほしい。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
79	21	友好都市との連携は、互いがwin-winの関係になるよう検討してほしい。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
80	21	クリーンセンターのごみ発電は少なからず温室効果ガスを伴うもので、ごみの減量を推進すべき時代に、時代錯誤にならないか不安である。市内の農地におけるソーラーシェアリングや、友好都市における創エネを推進すべきではないか。	クリーンセンターでごみを焼却すると温室効果ガスが発生しますが、ごみ発電を行うためにごみを焼却しているのではなく、副次的に有効活用し発電しているものです。また、クリーンセンターで焼却するごみは、減量や分別を徹底した結果、どうしても排出されてしまうごみであるため、ごみの減量とごみ発電は矛盾するものではありません。ごみ発電以外の創エネについては、具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
81	21	武蔵野市のエネルギーのオリジナリティはクリーンセンターのごみ発電である。ごみ発電による電気は二酸化炭素を伴わないため、公共施設だけでなく、市民の間にも広めてほしい。このことは、二酸化炭素を伴わない電気を使おうとする市民の意識を高める。クリーンセンターの取組を積極的にアピールしてほしい。	評価いただき、ありがとうございます。具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
82	21	エネルギー地産地消プロジェクトを初めて知ったが、このような壮大な事業について市はもっと積極的に広報すべきである。	エネルギー地産地消プロジェクトについては、パンフレットや啓発動画等を作成しており、引き続き広報に努めてまいります。
83	21	友好都市との連携は望ましいので、市民や事業者からも広くアイデアを募ってほしい。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
84	21	エネルギー地産地消プロジェクトは評価できる点もあるが、夜間のごみ発電による電力を蓄電池に貯めて昼間に使うというスキームは、市域全体の二酸化炭素排出量を減らすものではないため、これ以上費用をかけるべきではない。また、自己託送も市域全体で実際に排出される二酸化炭素は減らない。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
85	22	玉川上水、雑木林等を適正に管理し、二酸化炭素吸収量を最大限引き出してほしい。	関係部署と共有し、ご意見を参考にさせていただきます。
86	22	プラスチックは便利さゆえに社会に定着しており、脱プラスチックのためには同じぐらい便利な代替素材が開発される以外にない。その意味で、市の役割は限定的である。	プラスチック対策については、22頁にも記載の通り、法律の動向も注視しながら、令和4年度中に改定予定の武蔵野市一般廃棄物処理基本計画の中で検討してまいります。
87	22	プラスチックの処理に対して地方自治体の費用がかかりすぎているため、ワンウェイプラスチックの削減の取組をもっと進めるべきである。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
88	22	再エネポテンシャルから考えて、域外からの再エネ供給に頼らざるをえないため、地方や事業者任せにするのではなく、市や市民が積極的に関与するスキームを開発してほしい。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
89	22	ごみは身近な環境問題であるため、対策の検討を市民参加で進め、全市民的なムーブメントづくりのきっかけとしてほしい。	市では、学識経験者、市民、事業者、行政で構成される「武蔵野市廃棄物に関する市民会議」を設置し、資源の再利用、廃棄物の発生抑制・減量、まちの美化に関する基本的事項について協議していますが、ご意見は関係部署と共有し、参考にさせていただきます。
90	22	食品ロスも市民の関心が高いため、取り扱ってほしい。	市では、食品ロスについて「武蔵野ごみニュース」による啓発、市内事業者との連携事業等に取組んでいます。ご意見は、関係部署と共有し、参考にさせていただきます。
91	23	オゾン層は人類が一丸となってフロン規制等に取り組んだ結果、復活した。これは人類が環境問題を克服した例であり、このように地球温暖化も人類が力を合わせれば乗り越えられると確信している。	市もそのように考えております。
92	23	充電設備を増やしてほしい。そのために充電器設置者への補助等も検討してほしい。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
93	23	代替フロン対策について、他の自治体と共同で国や都に対策強化を求めていくべきではないか。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
94	23	E V化以外に、車両の量自体を減らすために、コンパクトなまちづくり、公共交通機関の拡充、吉祥寺駅周辺への乗り入れ制限等をしてほしい（同様の意見が他に1件）。	具体的な施策の実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
95	25	【適応策】広域長期の停電が発生した場合、非常用電源は確保されているのか。	適応策は改定の対象外ですが、本計画は地球温暖化という環境側面から見た計画であるため、災害時における停電等への対応は「武蔵野市地域防災計画」等で位置付けられています。
96	27	何度も会議を開催して計画が策定されることがわかった。職員の苦労が垣間見える。	評価いただき、ありがとうございます。